

## 2025年度の取締役会の実効性の評価結果の概要について

当社では、毎年、会議体としての取締役会の運営および中長期的な企業価値向上のための組織体としての取締役会のあり方という観点から取締役会の実効性の評価を行うこととしております。2025年度の評価結果の概要については以下のとおりです。

### 1. 評価の方法

全取締役および監査役を対象として、次の事項に関しての5段階評価と自由記述によるアンケートを実施しました。

#### 【評価対象事項】

##### ①会議体としての取締役会の運営

付議事項、招集手続、資料、説明・審議・意思決定等、議事録、年間日程

##### ②中長期的な企業価値向上のための組織体としての取締役会のあり方

経営戦略等に関する議論、取締役会の構成

### 2. 評価結果の概要

#### (1) 会議体としての取締役会の運営に関して

取締役会の運営全般についてはおおむね適切であり、その実効性は確保されていると判断いたしております。一方で、今後の経営体制をふまえた取締役会付議事項のあり方や、取締役会における議論をより一層深化させることに関しては継続的な課題があることを認識しており、本年度は次の事項に取り組んでまいります。

①タカラバイオ株式会社の完全子会社化後の経営体制をふまえ、持株会社である当社取締役会としての付議事項の見直しを進めてまいります。

②取締役会における議論をより一層深化させるために、取締役会メンバー（業務執行取締役・社外取締役・監査役）間のさらなる情報共有を図ってまいります。

#### (2) 組織体としての取締役会のあり方に関して

中長期的な経営戦略等の策定過程における独立社外役員の関与などについて一定の肯定的な意見がある一方で、持株会社の取締役会としてのモニタリング機能のあり方や、中長期的な経営戦略等に関してより多様な意見を反映していくことなどについては継続的な課題があることを認識しており、本年度は次の事項に取り組んでまいります。

- ①タカラバイオ株式会社の完全子会社化後の経営体制や「宝グループ中期経営計画2030」を策定したことなどをふまえ、取締役会としてのモニタリング機能のあり方について検討し、必要と考えられる施策を講じてまいります。
- ②中長期的な経営戦略等について議論する場における今後のテーマ設定や運営方法を継続的に検討していくことなどにより、引き続き中長期的な経営戦略（事業ポートフォリオ戦略等）に関して多様な意見を反映する取組みを行ってまいります。

当社取締役会は、今後も引き続き、認識された課題の改善策を実施し、その結果を評価してさらなる改善につなげていくことで、継続的な取締役会の実効性の向上に努めてまいります。

以 上